

東北管内のダムで初受賞！ 鳴子ダムが「選奨土木遺産」に認定される

◇「選奨土木遺産」は、土木学会において土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度を設立しており、年間20件程度を選出しています。

◇平成28年3月末に鳴子地区地域づくりネットワーク（会長：高橋鉄夫）から申請がなされ、このたび、**東北管内のダムでは初となる認定**となりました。

◇鳴子ダムは、複雑なカルデラ地形の地に外国の技術者を招かずに日本の技術者だけで建設した我が国初の本格的100m級アーチ式コンクリートダムであることから受賞の運びとなりました。

◇「選奨土木遺産」認定を機に、鳴子ダムを土木遺産として広くPRすると共に、鳴子温泉郷における地域活性化を目指していきます。

<受賞概要>

- 名称：鳴子ダム（なるこ 附帯する鳴子発電所を含む）
- 受賞年月日：平成28年9月16日
- 完成年：昭和32年（昭和27年着工 昭和32年完成）
- 申請者：鳴子地区地域づくりネットワーク（会長：高橋鉄夫）
- 受賞理由：複雑なカルデラ地形の地に外国の技術者を招かずに日本の技術者だけで建設した我が国初の本格的100m級アーチ式コンクリートダムである。

※詳細については土木学会のHP（以下アドレス）をご覧ください。

（<http://www.jsce.or.jp/contents/isan/>）

※受賞における催し等については別途お知らせする予定です。

【発表記者會】古川記者クラブ

<問い合わせ先>

○申請者に関する事

大崎市鳴子総合支所 地域振興課

地域づくり担当主査 すずき 鈴木 一寿

TEL：0229-82-2191

○鳴子ダムに関する事

・ダム本体関連：国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所

所長 すがわら 菅原 裕彦

専門官 ふくし 福土 高義

TEL：0229-82-2341

・発電施設関連：東北電力(株)古川営業所

総務課長 たき 瀧 康博

TEL：0229-24-9041

■ < 鳴子 地域づくりネットワーク活動経緯 >

- ・ H26 年 5 月 29 日
鳴子温泉の活性化を図るため、鳴子ダムを選奨土木遺産に認定を目指して勉強会を開催。
- ・ H26 年 6 月
PR用のぼり(大、小)を作成。旅館、ホテル、商店へ配布。
- ・ H27 年
各種イベントにおいてPR活動。広報誌の発行。見学会の開催。
- ・ H28 年 3 月 30 日
選奨土木遺産 申請書提出。
- ・ H28 年 4 月
更なるPRのため周知用ポケットティッシュを作成し、イベント等で配布。
- ・ H28 年 9 月
選奨土木遺産 認定。

< 主な活動等の状況写真 >



のぼり(大、小)

ポケットティッシュ



イベントでのPR活動

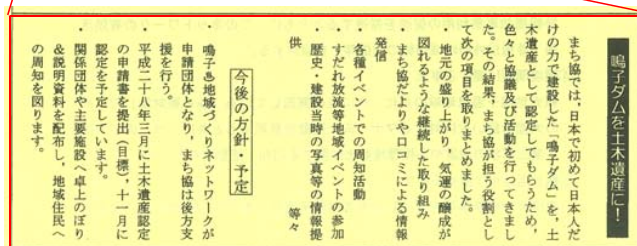


見学会の開催



広報誌の発行

拡大 ↓



< 参考資料 >

○ 選奨土木遺産とは

土木学会選奨土木遺産の認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設されました。

土木学会としては、その結果として、

1. 社会へのアピール
(土木遺産の文化的価値の評価、社会への理解等)
2. 土木技術者へのアピール
(先輩技術者の仕事への敬意、将来の文化財創出への認識と責任の自覚等の喚起)
3. まちづくりへの活用
(土木遺産は、地域の自然や歴史・文化を中心とした地域資産の核となるものであるとの認識の喚起)
4. 失われるおそれのある土木遺産の救済
(貴重な土木遺産の保護)

などが促されることを期待しています。

以上 土木学会HPより引用
(http://committees.jsce.or.jp/doboku_isan/)

< 鳴子ダム >



< 鳴子発電所 >

